

各位

2025 年 10 月 10 日

株式会社アルマード

2025 年度上期 卵殻膜の共同研究に関するお知らせ

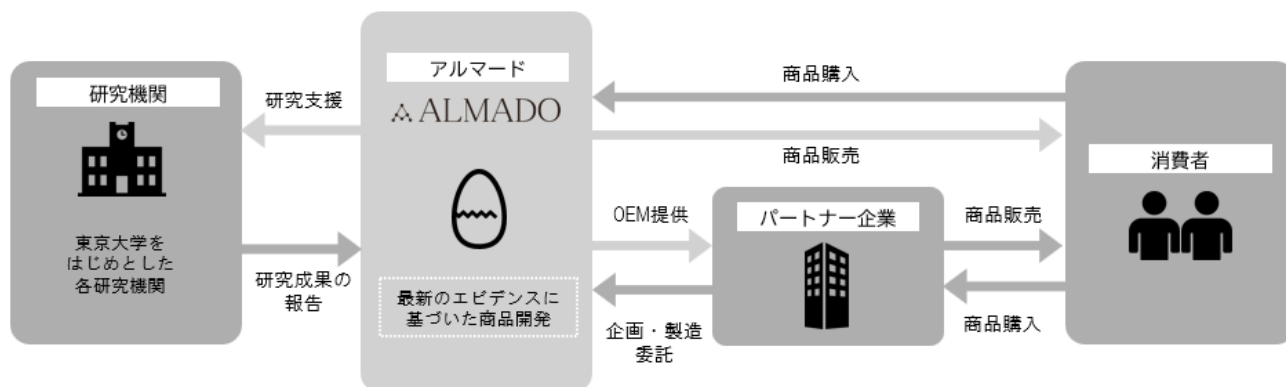
当社は、卵殻膜業界を牽引するパイオニアとして、卵殻膜に関する研究を加速させるため、複数機関と産学連携による共同研究を行っております。今年度上期の共同研究の成果につきまして、共同研究機関ならびに共同研究テーマを後段の通りご報告申し上げます。各研究で得られた結果を活かし、お客様ならびにその他各ステークホルダーの皆様からご満足いただける卵殻膜製品の開発・供給に取り組んでまいります。

今後も倍旧のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

■2025年度上期（2025年4~9月） アルマード共同研究成果一覧

共同研究機関 ※順不同	共同研究テーマ
東洋大学	1. 卵殻膜摂取は成長期ラットにおいて骨量を増加させ、骨髄脂肪蓄積の抑制を示唆 [掲載日]2025年4月1日 [掲載媒体] Bone Reports [掲載URL] https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S2352187225000178 2. 卵殻膜摂取がラットのドリル穴骨損傷モデルにおいて血管新生を刺激し、骨の治癒を促進する [掲載日]2025年9月2日 [掲載媒体] Tissue and Cell [掲載URL] https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S0040816625003994
東京農工大学 帝京大学 東京大学 京都大学 東北大学	1. 人と動物実験のギャップをつなぐ卵殻膜研究 — ^3H ラベル体内動態解析とIBDモデルによる腸内細菌バランス改善機序の解明 — [掲載日]2025年9月18日 [掲載媒体] International Journal of Molecular Sciences [掲載URL] https://www.mdpi.com/3505302 ※本研究に関する東京農工大学のプレスリリースは こちら

■共同研究の流れ



■株式会社アルマードについて

健康と美しさをもたらす「卵殻膜」が持つパワーの可能性についていち早く着目し、「CELLULA（チェルラー）」「CELLULA FALCO（チェルラー ファルコ）」「Orphe（オルフェ）」「TO-II（ティーオーツー）」「Ode（オーディ）」「ODE MODE（オーディモード）」「Ⅲ型（サンガタ）」「AMF（アマフ）」「Nom-lab.（ノムラボ）」ブランドで化粧品・健康食品を展開しています。

■会社概要

株式会社アルマード

代表者： 代表取締役社長 保科 史朗

事業内容：自社ブランド化粧品・サプリメントの企画・開発・販売ならび OEM（受託製造）の企画・開発・製造

住所：〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 4-6-2 菱華ビルディング 7 階

URL：<https://www.almado.co.jp/>

【本件に関するお問合せ先】

株式会社アルマード 広報担当 松永 麻美 Tel：03-6628-0615 /Mail：almado-pr@almado.co.jp